

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	鯨類の持続可能な利用に関するセミナー開催経費			担当部局庁	経済局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度			担当課室	漁業室			室長 梅澤 彰馬	
会計区分	一般会計			施策名	A-1 経済安全保障の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在進行中のIWCの将来プロセスを有益形で合意するため、鯨類の持続可能な利用支持国を招聘し、我が国の立場を説明し、これに対する理解や支持を求めるとともに、参加国との間で意見交換、情報交換を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年11月30日～12月1日に山口県下関市にて開催。アジア、アフリカ、欧州、東カリブ、大洋州から鯨類の持続可能な利用を支持する国(我が国を含み24カ国)が参加し、「IWCの将来プロセス」の今後の方向性、我が国が南極海で行っている調査捕鯨に対するNGOによる妨害行為への対応等について意見交換、情報交換を行った。この結果、参加国間で現状認識や互いの考え方を共有することができたとともに、参加国から、引き続き我が国の立場を支持する旨の表明がなされた。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—				
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	14	13	7	5	5		
	執行額		7	5	5				
	執行率(%)		51.6%	41.0%	64.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場の理解を深める。結果として、IWC年次会合への利用支持国の出席率を高めることを目的とする。 成果実績はIWC会合鯨類の利用支持国の参加国			成果実績	国数	27	32	35	39
				達成度	%	71	84	89	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)					単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場について理解を深め、支持を得るための参加国コミッショナーレベルでのセミナー開催(年1回)。			活動実績 (当初見込み)	開催回数/年	1	1	1	—
						(1)	(1)		
単位当たりコスト	4,807(千円/ 1回)			算出根拠	年1回実施したセミナー開催に要した経費を基に算出。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	旅費	4,941	4,786						
計	4,941	4,786							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後は単価見直しによる減を積極的に行い、より少ない予算で同等以上の成果を引き出すよう工夫する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直し等による減額		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し等による減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
5百万円

捕鯨問題に関する我が国の立場についての理解を促進することを目的に、アフリカ、アジア、大洋州の主にIWC未加盟国を対象に代表者を招聘し、会議を開催する

【外国送金】

A. 招聘者
5百万円

招聘者の訪日旅費を送金

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空賃	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	招聘者A	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	1	—	—
2	招聘者B	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	1	—	—
3	招聘者C	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	1	—	—
4	招聘者D	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.8	—	—
5	招聘者E	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.6	—	—
6	招聘者F	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.3	—	—
7	招聘者G	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.2	—	—
8					
9					
10					